



写真：アカアシクワガタ (撮影：令和元年7月27日)

「アカアシクワガタ」

アカアシクワガタ *Dorcus rubrofemoratus* 甲虫目 クワガタムシ科

枝をかじり樹液を出す

セミの鳴き声も盛んに聞こえるようになり、夏本番の霧

島山。虫取り網を持ち走り回る子どもの姿も目立つようになります。

夜、明かりに引き寄せられた昆虫は、街灯の下に朝まで居座っていることがあります。特にクワガタムシの仲間は大型のため、よく目立ちます。その中に、えびの高原でも多く見られるクワガタ、アカアシクワガタがいました。名前のとおり足が赤いのが特徴ですが、真上から見るとよくわからずクワガタに間違われることもしばしば。暑さや乾燥に弱いため、標高の高い湿潤な環境を好み、クワガタなどがあるような平地ではあまり見ません。夏の初めから晩秋まで見られ、夜間、街灯に飛来しますが、日中も活発に活動します。特にヤナギ類の細い枝にへばりつき、顎で枝に傷をつけて樹液をなめている姿が見られます。

平地から山の上まで、標高により多くの種類のクワガタムシが住み分けている霧島山。多様な昆虫と出会う最高のフィールドです。

(文)えびのエコミュージアムセンター